

取り付け詳細(青文字はエキパイ含むフルセットの場合)

- 1、シート裏のボルト2本をはずしシートを後ろにずらしてはずす。
右サイドカバーのボルトを外し、サイドカバー前端と後端を外側に引っ張ってラバーブッシュを外して、サイドカバーを前方に引いて外します。
サイレンサー近くのフレームにはガムテープを貼っておくと脱着時の傷付き防止になります。



- 2、サイレンサージョイントバンドを緩め、2本の取り付けボルトをはずしサイレンサーをはずします。上側ボルトはネジロックが塗ってあるので結構硬いです。
ソケットレンチに延長パイプなどつければ簡単に緩みます。



- 3、ジョイントガスケットを再利用する場合はノーマルサイレンサーからジョイントガスケットをはずします。抜け難い場合はエキパイを差し込んで斜めにエキパイを引き抜く作業を地道に繰り返して抜きます。潤滑スプレーを併用すると楽です。



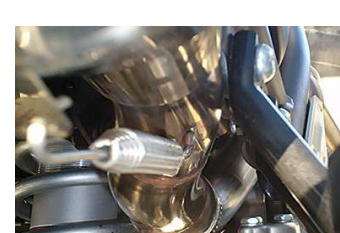
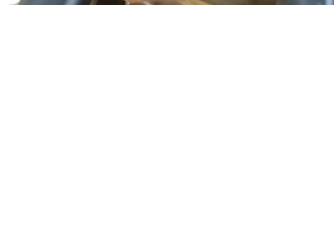
- 4、排気ポートのナット2個をはずしてノーマルエキパイを取ります。(DG31はO2センサーも)

- 5、EX-2エキパイにHGヒートガードを仮止めして装着します。(DG31はO2センサーも)

- 6、排気ポートのナットの右側はソケットレンチが入りにくいのでユニバーサルジョイントを使うか、指である程度回してからスパナですこしずつ締めます。出来るだけ左右ナットを均等に締めます。
以降、すべてのナット、ボルト、バンドは本締めしません。



- 7、DBsジョイントパイプにガスケットを入れ付属バンドを通した状態でエキパイに接続しノーマル取り付けボルトで仮止めします。
この時、ジョイントパイプがタンデムステップステーに接触するようでしたらジョイントパイプとフレームの間に付属ワッシャを入れてボルトを締めてください。
車両のバラ付きでたまに、かする場合があります。



- 8、ジョイントパイプにDB-1サイレンサーを差し込み、上部のノーマル取り付けボルトで仮止めします。この差し込み部は排気漏れ防止でキツイ為、潤滑スプレーなどを使用するか、一度、仮組してからばらして装着すると楽です。
この差し込み部から若干の排気が漏れますが問題ありません。
気になるようでしたら市販の液状ガスケットを塗布します。

- 9、各部がフレームなどに接触しないように配慮しながらエキパイのナットから順番に後ろへ向って、各ボルト、ナットを本締めします。

- 10最後にジョイントスプリングを掛け、各部の油汚れを脱脂スプレーで拭き終了です。
ステンレス製品は初期熱膨張が大きいので必ずテスト走行後、各部を増し締めしてください。
このスプリングを掛けてからサイレンサー取り付けボルトの固定はスプリングが引っ張って穴位置がずれますので取り付けできません。